

最優秀賞に輝いた数学部門の「YDK(上)」と理科部門の「真・パンダの家」20日、福井市の福井大文京キャンパス

数学 YDK(北陸3)



理科 真・パンダの家(福井大9)



理数GP

中学部門

最優秀輝く

県内小中高生が科学的な思考力や判断力、表現力を競う「ふくい理数グランプリ」の中学生部門本選が20日、福井市の福井大文京キャンパスで開かれた。数学部門は北陸中3年のチーム「YDK」、理科部門は福井大附属義務教育学校9年のチーム「真・パンダの家」が最優秀賞に輝いた。

県教委が2008年度から実施。予選を勝ち抜いた数学13チーム、理科11チーム(すべて3人1組)が出場した。数学では、4〜6枚の皿にキャンディーを置く際、与えられた条件を満たす配置を探る問題が出題された。理科は、アルミ箔で舟を作ってモーターを付け、乗せられる重りの数や目的地までの到達時間を競った。各チームは議論しながら課題に向き合い、その後

考え方の過程を発表した。「YDK」の五十嵐一梅さん、高橋悠菜さん、田口唯さん

は「難しくても時間がギリギリだった。3人でアイデアを持ち寄ったから解けた」。「真・パンダの家」の平井瑞紀さん、東航平さん、太谷豪さんは「みんなで協力して、水の抵抗をいかになくすか工夫した」と笑顔で振り返った。(黒川かおり)

本選の最優秀賞以外の結果と予選の個人賞は次の通り。
 【数学】▽優秀賞「万葉中学校一年一組(元)」(万葉)▽奨励賞 砂糖と愉快な仲間たち(高志)
 【理科】▽優秀賞 三人奇れば文殊の知恵(大飯)▽奨励賞 一般people(武生三)
 【個人賞・数学】▽最優秀賞 金原匡秀(福井大附属義務教育学校)▽優秀賞 永井康仁(高志)五十嵐一梅(北陸)鈴木開(福井大附属義務教育学校)上田慎之助(同)▽奨励賞 小林立弥(高志)高井凱斗(同)
 【個人賞・理科】▽最優秀賞 東航平(福井大附属義務教育学校)▽優秀賞 平田孝仁(高志)福家小桃(三国)下村成輝(武生三)▽奨励賞 宮下快斗(明倫)渡邊茜衣(高志)川端礼美(鯖江)